



JAPAN LEMAN CHALLENGE 2006



JAPAN LEMAN CHALLENGEは、耐久レースの全日本選手権を開催する為、SERO（Sports Car Endurance Race Operation）が組織され、スポーティング及びテクニカル・レギュレーションをル・マン・シリーズ（LMS）ルールを採用した、全日本選手権イベントとして立ち上げられました。全日本選手権が懸けられるのはドライバー、チーム、エンジンチューナーの3種で、2006年は全レース1,000kmで開催となりました。ル・マン24時間レースを主催するフランス西部自動車クラブ（ACO）と、LMSのプロモーターから承認を得て、シリーズ名を「Japan Le Mans Challenge」（JLMC）としたそうです。



TEAM930RUSHは、2006年の第3戦の岡山国際サーキットに、スポット参戦しました。

総参加台数は20台、我々は6チームが参加するLMGT2クラスに参加しました。アイ・スペースRUSH松島 豊／乾 武／垣内 仁の3人で参加し、予選1'43"449を記録し通過を果たしました。



決勝レースも、他のマシンとの性能差からペースは遅いものの、安定した走りで、トラブルに見舞われる他のチームを尻目に、最後までレースを保ち、諦めずに走行を続けた事で、クラス1位、総合8位にて完走を果たしました。



これにより全日本選手権シリーズ2位となり、品川で開催された全日本選手権シリーズ表彰にも出席することになりました。



これらの経験は、ドラマティックな耐久レースに魅せられて、RUSH CUP耐久レース主催へのきっかけとなりました。